

## 技術情報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察技術情報第4号

### 施設野菜におけるタバココナジラミ類の防除対策について

タバココナジラミ類は生態学的性質が異なる数多くの系統（バイオタイプ）に分かれており、本県では海外から侵入した2系統、バイオタイプB（シルバーリーフコナジラミ）と、バイオタイプQが主に発生しています。両系統とも薬剤感受性が低く、特にバイオタイプQは高度の薬剤抵抗性を持っています。

12月の巡回調査（トマト、きゅうり）の結果では並～やや多の発生となっていますが、今後の発生に注意して、下記対策を参考に防除指導を行ってください。

#### 記

#### 1. 耕種的防除および物理的防除

- (1) ハウス開口部（サイド、谷部、出入口）への目合い1.0mm以下の防虫ネットの設置による侵入の防止、黄色粘着板等による捕殺を主とした防除を行う。
- (2) 近紫外線除去フィルムの利用、圃場周辺への光反射フィルム敷設も侵入を防止するので、これらを組み合わせた防除を行う。
- (3) 苗から本圃への持ち込みを防ぐ。
- (4) 増殖源となるのでハウス内及び、周辺の除草を行う。
- (5) 栽培終了後は施設外へ拡散しないように、全ての株を地際から切断した上で施設を密閉し、全ての株が枯れるまで蒸し込む。特にトマト、ミニトマトでは黄化葉巻病の伝染環を断つために徹底して行う。

#### 2. 薬剤防除

- (1) 長崎県総合農林試験場による、県内のきゅうり、トマトから採集したバイオタイプQに対する実用濃度での薬剤感受性検定結果は図（幼虫）、表1（成虫）のとおりである。薬剤感受性には地域や圃場によりバラツキが予想されるので留意する。なお、補正死亡率80%以上の薬剤は以下のとおりである。  
幼虫：ベストガード水溶剤2,000倍、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤3,000倍、  
サンマイトフロアブル1,000倍、ダニトロンフロアブル1,500倍、アフアーム乳剤2,000倍、  
ハチハチ乳剤1,000倍  
成虫：ベストガード水溶剤1,000～2,000倍、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤3,000倍、  
バリアード顆粒水和剤2,000倍、サンマイトフロアブル1,000倍、アフアーム乳剤2,000倍
- (2) 多発生後は防除が困難となるので、発生をみたら直ちに防除を行う。特にトマト、ミニトマトは、本虫が黄化葉巻病を媒介するので注意して観察する。
- (3) 有効薬剤への薬剤抵抗性を発達させないため、同一系統薬剤の連用は避ける。
- (4) 検定に用いた薬剤は、作物によっては登録がないものもあるので、農薬を使用するときはよくラベルを読み、使用基準を遵守する。

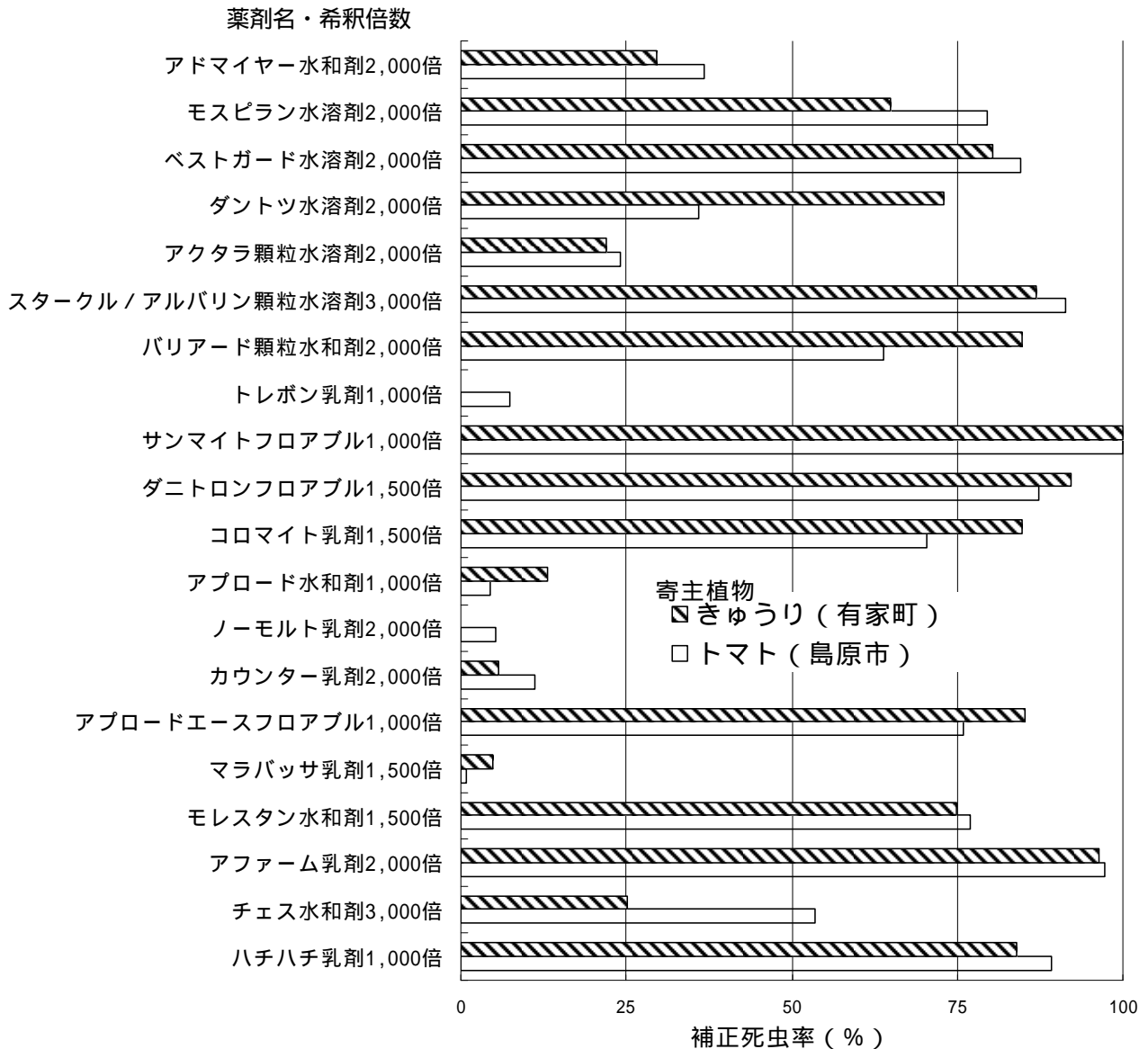


図 タバココナジラミ・バイオタイプQ幼虫の薬剤感受性  
(長崎県総合農林試験場)

2006年12月現在、アフファーム乳剤、ダニトロンフロアブル、マラバッサ乳剤はタバココナジラミに適用なし。

供試虫は2006年6月～9月に採集

検定方法：インゲン葉を用いたリーフディスク法により実施。展着剤(トリトンX-100 0.05ppm)を添加した所定濃度の供試薬剤を、卵後期に薬剤回転散布塔にて散布し、風乾後寒天ゲル上に保持、25℃下で8日後(3齢幼虫期)に生死を判定した。

表1 タバココナジラミ・バイオタイプQ成虫の薬剤感受性  
(長崎県総合農林試験場)

薬 剤 名	希釈 倍数	採集作物および地点		
		トマト		きゅうり
		島原市	南島原市 北有馬町	南島原市 有家町
アドマイヤー水和剤	2,000			26.2*
モスピラン水溶剤	2,000	83.4	83.3	51.8
ベストガード水溶剤	2,000			89.6
	1,000		100	
ダントツ水溶剤	2,000			3.5*
アクタラ顆粒水溶剤	2,000			14.9*
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	3,000	100		95.2
バリアード顆粒水和剤	2,000	96.8	100	87.0
トレボン乳剤	1,000			5.2*
サンマイトフロアブル	1,000		100	100
ダニトロンフロアブル	1,500			7.7*
コロマイト乳剤	1,500		53.8	17.1*
モレスタン水和剤	1,500			13.9
アフーム乳剤	2,000	97.5	96.6	94.5
チェス水和剤	3,000		73.3	42.8
スピノエース顆粒水和剤	3,000	56.4	25.9*	30.9*
ハチハチ乳剤	1,000	6.1*		24.9*

数字は補正死虫率(%), 太字は補正死虫率80以上, \*は40未満。

2006年12月現在、アフーム乳剤、スピノエース顆粒水和剤、ダニトロンフロアブルはタバココナジラミに適用なし。

供試虫は2006年6月～9月に採集

検定方法:熊本法(樋口ら,2005)による。キャベツ葉(品種;金系201号)を展着剤(トリトンX-100 0.05ppm)を加用した薬剤に10秒間浸漬し、風乾した後、検定容器に挟んで輪ゴムで固定して、タッパーに水差しした。容器側面に空けた穴から成虫15～20頭を放飼して綿棒の先で栓をした。1濃度あたり3～4反復で行い25℃、16L-8D条件で5日後に生死を判定した。

表2 薬剤感受性検定で、補正死虫率が80%以上だった薬剤の「平成18年度病害虫防除基準」への記載状況

薬 剤 名	きゅうり	トマト	ミニトマト	メロン	なす
ベストガード水溶剤					
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤					
バリアード顆粒水和剤					
サンマイトフロアブル			×		×
ダニトロンフロアブル		×	×		
アフーム乳剤					
ハチハチ乳剤				×	

: 記載あり(対象害虫: 外コナジラミ類)

: 記載あり(対象害虫: 他の害虫)

: H19年度に外コナジラミ類で記載予定、H18年12月現在、外コナジラミ類に登録あり

: H19年度に他の害虫で記載予定、H18年12月現在、外コナジラミ類又は他の害虫に登録あり

: 記載なし、H18年12月現在、外コナジラミ類又は他の害虫に登録あり

×: H18年12月現在、作物登録なし

「農薬使用基準の遵守について」

農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルをよく読み、使用基準（適用作物、適用病害虫、使用濃度、使用量、使用時期、総使用回数）及び使用上の注意事項を守って、適正に使いましょう。

---

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、  
アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp